

科目名 Course Name	日本国憲法 Constitutional Law of Japan			ナンバリング No.	A2-016		
年次	1 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	田上雄大						
連絡先(質問等)	教室、非常勤講師室						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1 DP2 DP4						
授業の概要と到達目標	<p>【授業の概要】 日本国憲法とこれにかかわる事項について扱う。高校までに学んだ内容を振り返るだけでなく、社会人としてさまざまな問題を考えられるように、さらなる知的発見を得られる場とする。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 憲法の内容について論じることができるようになる。 2. 国の仕組みやあり方について論じることができるようになる。 3. 社会におけるさまざまな問題について憲法という観点から論じることができるようになる。 						
授業の方法	配布したレジュメに沿って講義を行う。毎回各テーマについての講義を行い、講義最終日には最終的な知識を確認するために試験を行う。 また、自主レポートについては随時受け付ける。						
学習成果	L01						
	L02	学生は、憲法にかかわる知識をもとに社会におけるさまざまな事象について考え、社会人としての基本的思考能力を修得することができる。					
	L03						
	L04	学生は、国ごとの違いについての理解に基づき、異文化を尊重する態度をとることができる。					
課題に対するフィードバック	講義のなかで対応する。						
教科書/参考図書	<p>【教科書】なし。</p> <p>【参考図書】必要に応じて講義中に提示する。</p>						
履修上の留意点やルール等	<p>憲法は、実はさまざまなところで私たちにかかわってきています。そのため、日常のさまざまな出来事に広く関心を持つことが望ましいです。</p> <p>なお、受講する学生の興味関心にあわせて内容を多少変更することもありうるので、フレキシブルな姿勢で受講すること。</p> <p>周囲に迷惑をかける可能性があるため、私語は減点の対象となります。</p> <p>各回の事前・事後学習の目安:180 分</p>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	提出物の状況から判断する。		8		2
レポート/作品	自らの考えを整理し、まとめられているかという点をもとに評価を行う。		8		2
発表					
小テスト					
試験	学んだ知識が身についていることを示すことができているかという点から評価を行う。		50		30
その他					
合計			66		34

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、憲法と国家
	事前・事後学習	憲法や国家について、どのようなものかまとめる。
2	授業内容	主権
	事前・事後学習	主権の意味について、その違いや特徴をまとめる。
3	授業内容	天皇・皇室
	事前・事後学習	天皇や皇室について、その特徴をまとめる。
4	授業内容	戦争放棄
	事前・事後学習	憲法9条や自衛権について、その意味や政府見解の変遷をまとめる。
5	授業内容	基本的人権
	事前・事後学習	基本的人権の特徴とその態様についてまとめる。
6	授業内容	法の下での平等
	事前・事後学習	さまざまな平等の種類についてまとめる。
7	授業内容	思想・良心の自由と公教育
	事前・事後学習	思想・良心の自由がどこまで保障されるのかについてまとめる。
8	授業内容	信教の自由、政教分離
	事前・事後学習	政教分離の役割と意義についてまとめる。
9	授業内容	表現の自由と青少年保護
	事前・事後学習	表現の自由と青少年保護との関係についてまとめる。
10	授業内容	教育を受ける権利
	事前・事後学習	教育に関する諸権利についてまとめる。
11	授業内容	労働者の権利と社会福祉
	事前・事後学習	労働者のもつ権利とその重要性についてまとめる。
12	授業内容	三権分立
	事前・事後学習	三権分立の仕組みと意義についてまとめる。
13	授業内容	裁判員制度
	事前・事後学習	裁判員制度の特徴と仕組みについてまとめる。
14	授業内容	憲法尊重擁護義務、憲法改正
	事前・事後学習	憲法尊重擁護義務の意味と憲法改正の仕組みについてまとめる。
15	授業内容	試験とまとめ
	事前・事後学習	これまでの講義内容をまとめ、整理する。